

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 28 年 9 月 23 日 (2016.9.23)

【公表番号】特表 2015-536499 (P2015-536499A)  
 【公表日】平成 27 年 12 月 21 日 (2015.12.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2015-080  
 【出願番号】特願 2015-539585 (P2015-539585)  
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/22 (2012.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 Q 50/22

G 0 6 F 17/30 2 3 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 8 月 1 日 (2016.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ケースシリーズリポジトリを 1 つ以上のソフトウェアアプリケーションと統合するためにコンピュータによって実行される方法であって、

ケースシリーズを受取ることを含み、前記ケースシリーズは 1 つ以上の有害事象ケースを含み、各有害事象ケースは、有害事象を表現するデータレコードを含み；前記方法はさらに、

ケースリビジョンを受取ることを含み、前記ケースリビジョンはケースリビジョン情報を含み、前記ケースリビジョン情報は、前記ケースシリーズの有害事象ケースに対する少なくとも 1 つの変更を含み；前記方法はさらに、

ケースシリーズデータモデルを用いて、前記ケースシリーズおよび前記ケースリビジョンをケースシリーズリポジトリ内に記憶することを含み、前記ケースシリーズデータモデルは、前記ケースシリーズリポジトリ内における前記ケースシリーズおよび前記ケースリビジョンのフォーマットを規定し；前記方法はさらに、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて、前記ケースリビジョンを前記ケースシリーズと関連付けることと、

ケースシリーズアプリケーションプログラミングインターフェイスを用いて、前記ケースシリーズおよび前記関連付けられるケースリビジョンを検索することを含み、前記ケースシリーズアプリケーションプログラミングインターフェイスは、ソフトウェアアプリケーションに対して、前記ケースシリーズおよび前記関連付けられるケースリビジョンのフォーマットを規定する、コンピュータで実行される方法。

【請求項 2】

前記ケースシリーズデータモデルは、前記ケースシリーズの 1 つ以上のケース識別子を表現するデータフィールドと、前記ケースシリーズの前記 1 つ以上の有害事象ケースを表現する 1 つ以上のさらに他のデータフィールドとを含み、各ケース識別子は、前記 1 つ以上の有害事象ケースのうちのある有害事象ケースを一意に識別する、請求項 1 に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項 3】

前記ケースシリーズデータモデルは、前記ケースリビジョン情報を表現する1つ以上のさらに他のデータフィールドを含む、請求項2に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項4】

前記ケースリビジョン情報は、前記ケースリビジョンを識別するタイムスタンプ情報を含む、請求項1～3のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項5】

前記タイムスタンプ情報は、有効開始日および/または時間ならびに有効終了日および/または時間を含み、

前記ケースシリーズデータモデルは、前記タイムスタンプ情報を表現する1つ以上のさらに他のデータフィールドを含む、請求項4に記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項6】

変更ログを作成することをさらに含み、前記変更ログはケースシリーズ履歴情報を含み、前記ケースシリーズ履歴情報は、前記ケースシリーズの履歴に関する情報を含み、前記方法はさらに、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記変更ログを前記ケースシリーズリポジトリ内に記憶することを含み、前記ケースシリーズデータモデルは、前記ケースシリーズリポジトリ内における前記変更ログのフォーマットを規定し、前記方法はさらに、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記変更ログを前記ケースシリーズに関連付けることを含む、請求項1～5のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項7】

注釈を作成することをさらに含み、前記注釈はユーザ定義情報を含み、前記方法はさらに、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記注釈を前記ケースシリーズリポジトリ内に記憶することと、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記注釈を前記ケースリビジョンに関連付けることとを含む、請求項1～6のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項8】

フォルダを作成することをさらに含み、前記フォルダは、前記ケースシリーズおよび1つ以上のさらに他のケースシリーズの論理的編成を含み、前記方法はさらに、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記フォルダを前記ケースシリーズリポジトリ内に記憶することと、

前記ケースシリーズデータモデルを用いて前記ケースシリーズを前記フォルダと関連付けることとを含む、請求項1～7のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項9】

前記ケースシリーズは、名称付きケースシリーズ、アクティブなユーザケースシリーズ、単一使用ケースシリーズ、またはケースヒットリストのうちの1つを含む、請求項1～8のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項10】

前記ケースシリーズは、事象シリーズまたは製品シリーズの1つを含む、請求項1～9のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項11】

前記ケースシリーズは、1つ以上の薬剤の安全性に関係付けられる1つ以上のレポートまたは患者識別子を含む、請求項1～10のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項12】

前記ケースシリーズは複数のケースリビジョンを含む、請求項1～11のいずれかに記載のコンピュータで実行される方法。

【請求項13】

請求項1～12のいずれかに記載の方法をコンピュータに実行させるためのプログラム

## 【請求項 14】

請求項 13 に記載のプログラムを格納するためのメモリと、  
前記メモリに接続され、前記プログラムを実行するためのプロセッサとを備える、シス  
テム。